

2026年4月21日
株式会社京阪百貨店

京阪百貨店が農林水産省「第10回食育活動表彰」において、企業部門の最高位「農林水産大臣賞」を受賞！

株式会社京阪百貨店（本社：大阪府守口市 取締役社長：畑中 利彦）は、農林水産省が主催する「第10回食育活動表彰」教育関係・事業者部門企業の一部において最高位の「農林水産大臣賞」を受賞いたしました。これは、当社が食育基本法の施行以降、約20年間にわたり、お客様に向けて食に関する様々な情報発信や体験・イベントを通じ産官学民の団体様と共に取り組んできたことが評価されたものです。

なお、表彰式は2026年6月6日に「第21回食育推進全国大会 in とちぎ」において開催されます。



〈食育活動表彰について〉

農林水産省が主催する制度で、ボランティア活動や教育活動、農林漁業、食品製造・販売など、食育に関わる多様な分野において優れた取組を行った個人・団体・企業の功績を顕彰するものです。あわせて、その取組内容を広く周知し、食育の輪を全国へ展開していくことを目的としています。

〈京阪百貨店の食育活動事例〉

■産学官民で「SDGs 食育フェスタ」を共同開催

地域のお客様に「食」を楽しみながら食育への関心を深めていただくことを目的に、食育活動に取り組む大学・企業・行政の協力のもと、毎年5月に開催しています。（本年は5月24日開催予定）

「食を楽しむ」→「食を学ぶ」→「食を体験する」という流れで構成し、京阪グループの京阪版SDGs（KEIHAN BIOSTYLE PROJECT）の一環として、「食」に関わるサステナブルな取り組みの紹介・提案も行っています。



■地域の農家さんでの収穫体験など、さまざまな「食育ツアー」を実施

食を知るうえで、お客様に直接体験いただく学びの機会を設けています。地域の農家での「農業体験」をはじめ、地域の大学や企業と連携した「料理教室」や「食の流通現場の見学」などを通じて、「百貨店担当者」「食の現場」「お客様」をつなぐ企画として、ツアーを年間4回開催しています。



■地元大学とオリジナルレシピ「D&H COOKING」の取組

「Delicious（おいしさ）」と「Health（健康）」をコンセプトに、相愛大学人間発達学部管理栄養学科の学生（管理栄養士を目指す）が、料理研究家で同大学教授の杉山文氏の指導のもと、当社からの提案をもとに具体的なレシピ開発に取り組んでいます。開発したレシピは、売場内の専用コーナーにて配布し、お客様の日々の食生活に活かしていただける形で展開しています。



■「京阪沿線つながる・つなげる農業」の取組

当社は、大阪府と京都府を結ぶ京阪電車沿線に位置する百貨店です。沿線では都市開発が進む一方で、農地や特産物を守り継ぐ方々や、新たに就農される方々との対話を通じ、都市近郊ならではのご苦労やこだわりに触れてきました。こうした生産者とお客様をつなげる役割を担うべく、沿線の自治体や大学と連携しながら、沢山のつながりをもって、つなげていけるよう沿線の農産物販売を進めてまいります。



■直営青果売場の「SDGs × 農業」

直営青果売場では、環境配慮と持続可能な農業の実現に向け、循環型堆肥による食品リサイクルループの構築や、バイオ炭を活用したCO₂削減（カーボンマイナス）の取組を推進している。あわせて、農福連携や農業女子プロジェクトへの参画、有機 JAS 農産物および加工品の展開など、多面的な施策を通じて「SDGs × 農業」の実現に取り組んでいます。



■安全・安心かつおいしい肉ブランド本物の美味しさ

精肉ブランドとして「沖縄あぐ〜豚」「宮崎ハーブプレミアム」の2ブランドをそれぞれ、2006年、2012年に立ち上げました。直営の食品部門を持つ強みを生かし、仕入れメーカー、ミートパッカー、生産者および飼料会社が一体となって開発しています。品質の向上と価格の安定を図り、安全でおいしい精肉を継続的にお客様へ提供することで、「お客様」「販売者」「地域社会」に加え、「生産者」にとっても価値のある“四方よし”のサプライチェーンの構築に取り組んでいます。



■直接仕入れた鮮度抜群の黒潮本まぐろ

高知県大月町・宿毛湾で育てられた養殖まぐろを直接仕入れることで、生産地や養殖方法、餌の違いによる味わいの変化などを売場で発信しています。合成飼料に頼らず、近海の天然魚を餌とする養殖手法や、生産から出荷まで一貫して管理された品質へのこだわりを伝えることで、食材の背景や持続可能な水産業への理解促進に寄与しています。あわせて、対面販売や販促物を通じて、魚の価値や適切な消費について学ぶ機会を提供しています。



京阪百貨店では今後も「食」を通じた価値提供を通じて、お客様の豊かな暮らしと地域社会への貢献に取り組んでまいります。

SDG s を実現するライフスタイルを提案する

京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDG s の達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを

「BIOSTYLE(ピオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできる様々な活動を推進していきます。

- ▶ 「京阪沿線つながる、つなげる農業」は、BIOSTYLE の概念を事業化する取り組みとして BIOSTYLE 事業認証を受けています。
- ▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan.co.jp/corporate/sustainability/biostyle/>

KEIHAN
BIOSTYLE
PROJECT

京阪グループのSDG s ピオスタイルプロジェクト



お問合せ先：株式会社京阪百貨店 営業政策部 宣伝・広報担当

電話：06-6994-1319